



日合商は昭和52(1977)年に合板・建材を扱う流通業界の活性化と、関係官庁に意見書が提出できる組織として発足した歴史ある組織であり、業界唯一の国の認可団体です。その「会勢強化」は、業界の活性化につながるもので、また、新規会員・賛助会員の数が増えることで関係官庁への発言力も増し、社会的な影響力も拡大していくものと考えています。

北海道支部が幹事支部として札幌で開催します! 「第41回日本合板商業組合 通常総会」ご案内

日本合板商業組合通常総会は、全国の会員が一堂に会する、唯一かつ年に一度の貴重な機会です。「協調と連帶」の基本理念のもと、合板建材流通業の発展と会員の活性化を図るために欠くことのできない情報交換の場として、組合員各位に大きく寄与することと存じます。

第41回日本合板商業組合通常総会は、北海道支部が幹事支部として開催準備を進めています。

本年は、明治2(1869)年8月15日に蝦夷地が北海道と命名されてからちょうど150年目という大きな歴史の節目を迎えます。同地において、日合商の先人たちに想いをはせ、本組合の原点に立ち戻り、今後の活動について語り合えることは非常に意義深いことだと思います。

全国各支部の皆々様お誘い合わせのうえ是非ご出席くださいますようご案内申し上げます。

平成30年5月17日(木)

- ◇会 場：京王プラザホテル札幌
〒060-0005 札幌市中央区北5条西7丁目2-1
TEL 011-271-0111
- ◇ア クセス：JR札幌駅より徒歩約5分
新千歳空港駅より快速エアポート利用、札幌駅下車
新千歳空港より連絡バス利用
- ◇スケジュール：総代会受付 13:00～
総代会 14:00～15:30
講演会 15:45～17:15
講師 (株)ニトリホールディングス
代表取締役会長兼CEO 似鳥昭雄 氏
懇親会 17:30～19:10
アトラクション：ジュニアジャズ
よさこいソーラン
二次会 19:10～
アトラクション：北海道和太鼓

平成30年5月18日(金)

- ◇エクスカーション：ゴルフまたは観光
〈ゴルフ〉 小樽カントリー倶楽部 新コース ※スループレー
20組 80名(先着順)
〈観光〉 余市ニッカウヰスキー
小樽芸術村(似鳥美術館・ステンドグラス美術館)
小樽運河周辺散策
定員 40名(先着順)



費用

■日本合板商業組合第41回通常総代会 登録料

- ・組合員お一人様 (懇親会・二次会を含む) 20,000円(税込)
- ・ご同伴者お一人様 (令夫人様またはご子弟) 10,000円(税込)

■エクスカーション 登録料

- ・ゴルフ参加費 お一人様 10,000円(税込)
※プレー代、その他私物は各自ご精算願います。
- ・観光参加費(食事・バス代含む) お一人様 10,000円(税込)



床暖房対応住宅用木質床材

プレミアムヘリンボーン

2mm厚スライス厚単板を贅沢に使った高級感あふれるインテリアを創造します。

●樹種:ウォールナット・オーク・チーク・ハードメープル・アメリカンチェリー ●サイズ:12×75×450mm

ボード株式会社
<http://www.board.co.jp>

本社 〒160-0022 東京都新宿区新宿5-5-3
TEL. 03-3352-7155 FAX. 03-3352-6714
仙台営業所 〒981-3602 宮城県黒川郡大衡村大衡字座府75-14
TEL. 022-345-5955 FAX. 022-345-0065

合板需給検討委員会による 合板需給見通し

合板需給検討委員会による「合板需給見通し」を林野庁主催「平成29年度第4回木材需給会議」に向け提出

合板 短期需給見通し

(Unit : 1,000m³)

		供給			需要(出荷)			期末在庫		
		計	国内製造	輸入合板	計	国内製造	輸入合板	合計	国内製造	輸入合板
2017(H29) 10-12	前回予測	(1,509)	(800)	(709)	(1,530)	(820)	(710)	(1,059.835)	(138.140)	(921.695)
	実績	1,577.340	834.392	742.948	1,581.441	838.441	743.000	1,076.734	154.091	922.643
2017(H29) 計		6,114.640	3,210.521	2,904.119	6,119.430	3,209.430	2,910.000			
2018(H30) 1-3	前回予測	(1,466)	(780)	(686)	(1,465)	(770)	(695)	(1,060.835)	(148.140)	(912.695)
	見込み	1,522.000	790.000	732.000	1,480.000	770.000	710.000	1,118.734	174.091	944.643
4-6	前回予測	(1,523)	(810)	(713)	(1,500)	(800)	(700)	(1,083.835)	(158.140)	(925.695)
	見通し	1,501.000	810.000	691.000	1,500.000	800.000	700.000	1,119.734	184.091	935.643
7-9	見通し	1,521.000	810.000	711.000	1,540.000	830.000	710.000	1,100.734	164.091	936.643

国産合板の需要

1. 平成29年第4四半期の実績について 今回 (838千m³)

(実績数量の背景、前年同期との比較等)

住宅着工数は第3四半期7月より連続で前年比減の推移だが、九州等で在来工法の面材体壁用途の構造用合板が増加の傾向。また、フローリング用針葉樹台板等の非構造用途の需要も堅調に増加で推移して来た。

出荷量は前年同期の+5.4%で838千m³となり、前四半期の818千m³より大きく増加、ピークを更新することとなった。

2. 平成30年第1四半期の見込みについて 今回 (770千m³)

(見込み作成の根拠、前年同期との比較等)

住宅着工数は第1四半期も前年比減の傾向が予想され需要減少要因だが、針葉樹構造用合板の面材耐力壁や非住宅用途、非構造用ではフロアーフラット、型枠合板の用途向け拡大が一層進む見込み。東日本では東北・北海道など降雪の影響は大きく中小工務店の引き合いは落ち込んでいる。一方、西日本の九州地区では構造用合板の引き合いは相変わらず強い状態が続いている。出荷量は、前年を+1.1%上回る770千m³と見込まれる。

3. 平成30年第2四半期の見通しについて 今回 (800千m³)

(見通し作成の根拠)

住宅着工数は賃貸の減少傾向など影響を受けると思われるが、大手プレカット工場などは4月からの平常の加工を計画している。また、4月から予定される新規生産拠点の稼働により、フロアーフラットなどの非構造用の広がる用途の需要を支える見通し。

(前年同期との差異について)

出荷量は5月連休の影響は受けるものの、前年を+1.1%上回る800千m³となる見通し。

4. 平成30年第3四半期の見通しについて 今回 (830千m³)

(見通し作成の根拠)

住宅着工数は前年比水準に回復するとみられる、また建築基準法の一部改訂により非住宅分野での建築物の木造化も追い風となり、用途の拡大が一層期待される。また、オリンピック需要についても遅れている合板型枠などの使用は、第2-3四半期に顕在化してくる見通しとなっている。

(前年同期との差異について)

出荷量は8月盆休みの影響は受けるが、前年を+1.4%上回る830千m³となる見通し。

5. その他注目点等

建築基準法の一部改訂(耐火構造の要件見直し)は、建築物の木造化を一層推進するものとなり、針葉樹構造用合板の拡大につながってゆくことが期待される。

輸入合板の需要

1. 平成29年第4四半期の実績について 今回 (743千m³)

(実績数量の背景、前年同期との比較等)

サラワクの税率引上げ、丸太出材不足のなか駆け込み発注分の集中入荷となり、これに応じて待ち望んだ需要家への出荷となった。結果、入荷が遅れていた前年同期の入荷・出荷量を大きく上回ることとなった。出荷量は、前年+6.0%の743千m³と大きく上回った。

2. 平成30年第1四半期の見込みについて 今回 (710千m³)

(見込み作成の根拠、前年同期との比較等)

当初、前四半期の集中入荷の反動が今四半期現れるとみていたが、フロアーフラットであるファルカタ合板のコンテナでの入荷が多く見られ、前四半期に近い入荷量の水準となる見込み。塗装型枠合板や薄物・中厚合板などの品薄感の強いものは、出荷が入荷水準に対応する見込み。一方、品薄感の弱い生型枠合板等は、一部在庫となる見込み。前年は前々年末の年越しの集中通関で大幅の入荷増であったため、今年はその反動となる見込み。出荷量は前年-9.4%と大きく下回り、710千m³となる見込み。

3. 平成30年第2四半期の見通しについて 今回 (700千m³)

(見通し作成の根拠)

丸太の出材不足に加え、期間中ラマダン(断食月)など生産が落ちる要素により、供給(入荷)は減少する見込み。併せて出荷も若干減少するが、不足感のあるアイテムは変わらず強い引き合いが続く見通し。

(前年同期との差異について)

出荷量は前年-0.3%とわずかに下回るが、量的な水準は前四半期と大きな変化はなく700千m³となる見通し。

4. 平成30年第3四半期の見通しについて 今回 (710千m³)

(見通し作成の根拠)

丸太不足のなかでの生産に加え、日本以外の他地域への供給の価格メリットのため、日本向け供給(入荷)の増加には厳しい環境が続くものと思われる。一方、輸入合板の需要は品薄アイテムを中心に衰えは見られず、入荷量の水準は出荷されてゆく見通し。

(前年同期との差異について)

出荷量は前年+4.3%と上回り、710千m³となる見通し。

5. その他注目点等

マレーシア、インドネシアシッパーの企業グループにおいては、オイルパーム・プランテーションからの利益の比率が高くなり、木材産業からの利益の比率は低くなる傾向がでている。



www.chiyoda-ute.co.jp

70
TH
ANNIVERSARY

おかげさまで、チヨダウーテは
創業70周年をむかえました。

KMEW

暮らしをまもる 住まいを魅せる

汚れても、雨水が洗い流す。
残った汚れも、光触媒パワーが分解する。



光触媒の壁
光セラ

ケイミュー株式会社

ケイミューは「パナソニック」と「クボタ」が出資している両社のグループ会社です。

[本社] 〒540-6013 大阪府大阪市中央区城見 1-2-27 クリスタルタワー 13F

お客様ご相談窓口

0570-005-611 全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます(PHSのご利用は0743-56-2152) 受付時間・月~金 9:00~17:00(土・日・祝日・GW・お盆・年末年始は受付しておりません)

www.kmew.co.jp/

住団連「経営者の住宅景況感調査(1月度)報告」より

平成30年1月度経営者の住宅景況感調査集計結果

○印の数字は最も回答が多い

		10~12月(対前年同期比)実績					1~3月(対前年同期比)見通し				
		△10%程度以上悪い	△5%程度悪い	±0%かわらず	+5%程度良い	+10%程度良い	△10%程度・以上悪くなりそう	△5%程度悪くなりそう	±0%かわらず	+5%程度良くなりそう	+10%程度・以上良くなりそう
戸建注文住宅	受注戸数	2	3	⑦	1	3	0	1	⑧	5	2
	受注金額	0	3	⑦	1	3	0	0	⑦	5	2
戸建分譲住宅	受注戸数	④	0	④	0	1	0	2	⑤	1	1
	受注金額	④	0	2	0	2	0	2	④	1	1
賃貸住宅	受注戸数	④	3	3	1	1	1	2	⑥	3	0
	受注金額	④	1	3	1	2	1	2	④	④	0
リフォーム	受注金額	1	2	⑥	2	4	1	1	4	⑦	2
上記全体	受注戸数	2	2	⑤	1	3	0	1	⑦	4	1
	受注金額	1	3	④	3	2	0	0	⑧	4	1

-調査時期-

平成29年12月上旬

-調査対象-

住団連理事・監事等、18社の住宅の受注動向を把握されている経営者

-回答数-

17社

-回答者-

旭化成ホームズ、一条工務店、サンヨーホームズ、スウェーデンハウス、住友林業、積水化学工業、積水ハウス、大東建託、大和ハウス工業、寺井工務店、東急ホームズ、トヨタホーム、日本ハウスホールディングス、パナホーム、ミサワホーム、三井ホーム、ヤマダ・エスパイラルホーム
(社名:アイエオ順)

(注)

- 戸建注文住宅とは、エンドユーザーからの請負戸建住宅を意味します。
- 戸建分譲住宅には、ディベロッパーから分譲住宅用として請負った戸建住宅を含みます。
- 低層賃貸住宅はアパートを意味します。

新設住宅着工戸数の予測

回答数15社【単位:戸数】

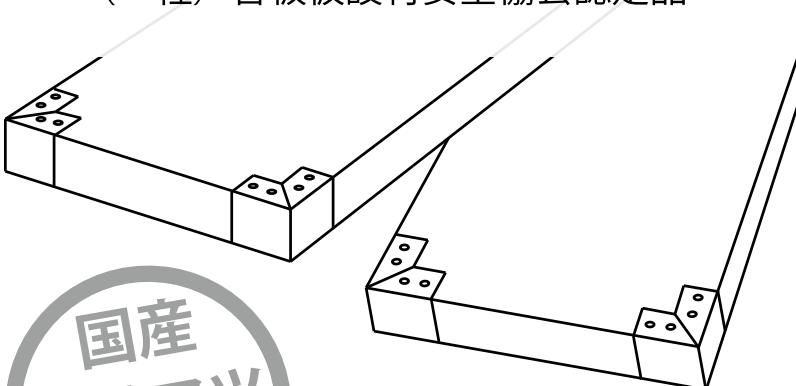
	総戸数	持家	分譲住宅	賃貸住宅
平成28年度実績	97.4	29.2	24.9	42.7
平成29年度予測	-	-	-	-
平成30年度予測				
A社	92	28	25	38
B社	96	31	25	39.5
C社	94	29.5	25.5	38.5
D社	95.1	28.5	24	42
E社	96.9	28.6	24.8	43
F社	96.5	30	25.5	40.5
G社	94	28.5	25.5	39.5
H社	94	28	27	38.5
I社	93.5	28	26	39
J社	91	26	24.8	39
K社	94	27.5	22.5	43.5
L社	101	30	25	45
M社	96.4	29.7	25.5	40.7
N社	94	28.7	24.2	40.5
O社	記載なし	記載なし	記載なし	記載なし
P社	-	-	-	-
Q社	記載なし	記載なし	39	記載なし
R社	記載なし	記載なし	記載なし	記載なし
平均	94.7	28.8	25.1	40.2

東京の合板卸売り価格(円)										
※東京都ペニヤ板問屋協同組合、日本合板商業組合「市況通信」より										
(注)1車単位(10トン)間屋売り価格・90日手形(JAS製品)										
品目	2月14日	前週比	2月20日	前週比	2月27日	前週比	3月7日	前週比	3月13日	前週比
2.3mm T2	600	+10	600	0	600	0	610	+10	610	0
4.0mm //	750	+20	750	0	750	0	750	0	750	0
5.5mm //	880	+20	880	0	880	0	900	+20	900	0
9.0mm //	1,500	0	1,500	0	1,500	0	1,500	0	1,500	0
12.0mm //	1,740	0	1,740	0	1,740	0	1,780	+40	1,780	0
F☆☆☆☆ 12mm C-D	1,130	0	1,130	0	1,130	0	1,150	+20	1,150	0
F☆☆☆☆ 24mm 実付	2,530	0	2,530	0	2,530	0	2,570	+40	2,570	0
F☆☆☆☆ 28mm 実付	2,830	0	2,830	0	2,830	0	2,870	+40	2,870	0
F☆☆☆☆ 9mm 3×10	1,960	0	1,960	0	1,960	0	1,960	0	1,960	0
輸入・型枠用 12mm JAS製品	1,350	+20	1,350	0	1,350	0	1,350	0	1,350	0
輸入・構造用 F☆☆☆☆ 12mm JAS製品	1,400	+30	1,400	0	1,400	0	1,400	0	1,400	0

平成30年2月25日現在									
【グリーン購入法】に基づき事業者新認定・期限更新した6社									
東北									
東北 - ③-0029 (株)下久保建材店 代表取締役 下久保 和成									
東関東									
東関東 - ③-0017 (株)本田 代表取締役 堀米 孝造									
東京									
東京 - ③-0120 (株)秋山商店 代表取締役 秋山 悟									
東京・静岡 - 0236 (株)シズケン 代表取締役 杉山 和也									
関西									
関西 - ②-0071 島田(株) 代表取締役 島田 博史									
中国									
中国 - 0099 (株)倉敷山商 代表取締役 濱本 陽次									

国産材合板足場板

(一社) 合板仮設材安全協会認定品



国産カラマツ 100%

- 釘打ち・加工が可能
- 幅広い使用用途

KEY-TEC™

株式会社 キーテック

〒136-0082 東京都江東区新木場 1-7-22
新木場タワー 8階
TEL: 03-5534-3741 FAX: 03-5534-3750
http://www.key-tec.co.jp

キノウを超える、ミライへ。

DAIKEN

美を極めた床

細部までゆき届いたごだわり、幅広デザインと美しい木目の表し。
そして美を保つ機能性が、三位一体となり美しい空間を作り出します。

美は細部に宿る

時を経ても美しく

美しさ広がる

エッジにまで行き届いた
美しさへのごだわり。

Trinity

トロニティ

美は細部に宿る

エッジにまで行き届いた
美しさへのごだわり。

美しさ広がる

空間の美しさを広げる
ワイドサイズ&9カラー。

178mm

時を経ても美しく

いつでも、いつまでもキレイ。
美しさを守るために強さをまとう。

日焼け キズ 汚れ

大建工業株式会社 本社 / 大阪府大阪市北区中之島3丁目2番4号 (中之島フェザイルタワー・クレスト14F) https://www.daiken.jp/

2018.2.05

関西支部 研修会

「平成30年度 国の住宅政策について」

参加 300名

国土交通省 住宅局 住宅生産課 課長 長谷川貴彦氏を講師に迎え、大阪市中央区のヒューリック心斎橋ビルで開催されました。



講師は国土交通省
住宅局 住宅生産課 課長
長谷川貴彦氏 30分間
の質疑応答も活発に行
なわれた



開会の挨拶に立つ石本勝範支部長

2018.2.27

中部日本支部

冬の研修会「国際環境雑感」

参加 97名

元中部航空方面隊 幕僚長 石井祐司 氏を講師に
迎え、名古屋国際会議場で開催されました。

開会の挨拶に立つ
小田敏光副支部長

概要

2018年1月の新設住宅着工戸数は66,358戸（前年同月比13.2%減）で7カ月連続の減少となった。その内、木造住宅は38,962戸（同比0.3%減）で7カ月連続減少となった。季節調整済年率換算値は85.6万戸で前月比8.6%減、2カ月連続の減少となる。

利用関係別では持家が20,257戸（前年同月比0.1%増）で8カ月ぶりの増加、貸家は28,251戸（同比10.8%減）で8カ月連続の減少、分譲は17,448戸（同比27.5%減）で2カ月連続の減少となった。分譲の内訳はマンションが6,525戸（同比50.2%減）で2カ月連続の減少、戸建ては10,743戸（同比1.1%減）と4カ月ぶりの減少となった。持家は増加したが、貸家及び分譲住宅が減少したため、全体で前年同月比13.2%と大きく減少となった。前年同月比は東京オリンピック関連の着工が増加した為、その反動もある。

建築工法別ではプレハブが10,600戸（同比7.0%減）で8カ月連続の減少、2×4は8,593戸（同比3.4%増）で7カ月ぶりの増加となった。

国内・外合板の供給量

1月の国内合板生産量は25.7万m³（前月比94.6%、前年同月比106.6%）と発表された。その内、針葉樹合板の生産量は24.5万m³（同比94.7%、107.8%）となり、出荷量は25.2万m³（同比98.0%、107.3%）

となった。出荷量は5カ月連続25万m³以上と高水準を維持されており、各社増産体制は継続している。

輸入合板の1月度入荷量は27.4万m³（前月比117.9%、前年同月比88.8%）となった。国別入荷量はマレーシアが10.4万m³、インドネシアが8.8万m³、中国が6.4万m³となっている。

今後の見通し

国内針葉樹合板は高水準の出荷が続いている。2月以降は直需系の引き合いが多少落ち着いたこともあって木建ルートに商品がまわり始めたが、アイテムによっては未だ納期がつかないものもある。現状のメーカー在庫量の少なさを考慮すると、4月も同様の状況が続くと思われ、受注残の出荷完了には時間が掛るようである。今後は少し落ち着いた動きになると思われるが、国内メーカーはGW以後の需要に備える為、最低水準の在庫を適正水準まで持ち上げる必要があり、相場は維持されると思われる。

輸入合板は現地マレーシア、インドネシア共に原木事情は多少改善傾向には有るが、丸太出材量が例年に比べると少ない状況である。現地の通貨高もあり、まだ現地価格は変わらず強気を続けている。現在の国内市況は一服感があるものの今後の入港量を考慮すると、需要で荷動きが出てくると状況は更に変化すると思われる所以状況を常に把握することが必要と考える。

日合商本部事務局よりお知らせ

『クリーンウッド法についての研修会』開催について

『クリーンウッド法』（合法伐採木材等の流通及び利用の促進に関する法律）に適切に対応するための研修会を、日合商本部事務局が日合商各支部の要請・ご要望に応じて実施してまいります。支部単位での要請・ご要望を本部事務局へお寄せください。

住環境と共に進化する。

th
anniv.

おかげさまで、創業80周年を迎えました。

JKホールディングス株式会社

PHOTO: 本社ビル 新木場タワー